男子ゴルフ 星野陸也プロ凱旋報告

10月5日（金）、男子プロゴルファー「リッキー」こと星野陸也（ほしのりくや）プロが、市へ凱旋報告に訪れました。

プロデビュー3年目で初優勝を飾った、日本男子ゴルフツアーフジサンケイクラシックでは4日間すべてでトップを守りました。星野プロは「地元の皆さんの声援の大きさにとても驚いた。これからも精一杯悔いのないゴルフをして笠間の名を広めていきたい。」と抱負を語り、市長からは「素晴らしいプレーを見せていただくことで、市民にとっても大きな喜びとなる。どんどん活躍して世界に羽ばたいてください。」とエールが贈られました。

市を訪れた、星野プロ（左）

台湾の政府関係者が笠間を視察

9月13日（木）、笠間台湾交流事務所を8月に台北市に開設したことをきっかけに、日本の地方創生への取り組みについて学ぶため来日した台湾の立法院委員や大学の農業研究者などが、市を訪れました。

市内では、栗の六次産業化や保健・医療・福祉が一体となった地域医療センターかさまの機能の説明を受けながら専門職チームが介護予防を行う様子などの現状を視察しました。

代表の台湾立法院委員の蔡培慧（さいばいけい）さんは「地域の特産品を生かした取り組みや地域医療センターの役割などとても参考になった。これからも笠間市との交流をさらに深めていきたい。」と話しました。

表敬訪問された台湾の皆さん
蔡 団長（前列右から3人目）

ねんりんスポーツ大会で好成績

10月11日（木）、笠松運動公園で開催された、茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会で、笠間市の代表として出場した高齢者クラブ連合会友部支部選手団が好成績を収めました。

主な成績は「ペタンク」の部 優勝、「クロッケー」の部 準優勝、「ゲートボール」の部 第三位という輝かしいものでした。このうち、ペタンクとゲートボールチームは、来年行われる「第32回 全国健康福祉祭 紀の国わかやま大会」への出場権を手にし活躍を誓っていました。

ペタンクに出場した皆さん

移動販売車運用開始

市では、平成27年度から買い物に行くことに不便を感じている方を中心に移動販売実証事業（移動スーパー）を進めてきていて、ニーズにあった運用を検討しています。9月から株式会社カスミに委託し、毎週月曜日から金曜日までの5日間、市内53カ所での移動販売を行っています。

移動スーパーではトラックの荷台に乗り降りすることなく、車の周囲をまわりながら商品を選ぶことができるように工夫されています。

品物を選ぶ市民の皆さん

まちの話題

歴史の繋がりから災害協定へ

9月26日（水）、市は福島県小野町と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。協定は、地震、水害、火災等の大規模災害が発生し、応急措置に困難が生じた場合に、避難に必要な施設や救援物資の提供等を相互に行うものです。小野町の一部地域は江戸時代中期に笠間藩の分領だった歴史が二市町を結びつけました。

山口市長は「協定をきっかけとし、災害面以外でも交流が広がり両市町の発展に繋がれば。」と期待を込めました。

小野町の大和田（おおわだ） 昭（あきら） 町長（左）

若年者ものづくり競技大会で銀賞受賞

8月2日（木）、身に付けた高度な産業技術の腕前を競う、第13回若年者ものづくり競技大会が石川県で開催され、日立工業専修学校3年の引田（ひきた）仁志（ひとし）くん（友部中出身）がメカトロニクス部門で見事銀賞を獲得しました。

メカトロニクスの職種では、工場の自動生産設備を模した装置を用いて、課題に応じた機器の改造や調整、プログラミング、保守点検などを4時間以内で完成させるというもので、28組（56名）が技能を競い合いました。

大会には、全国の職業能力開発施設や工業高等学校等の学生445人が15職種で参加しました。

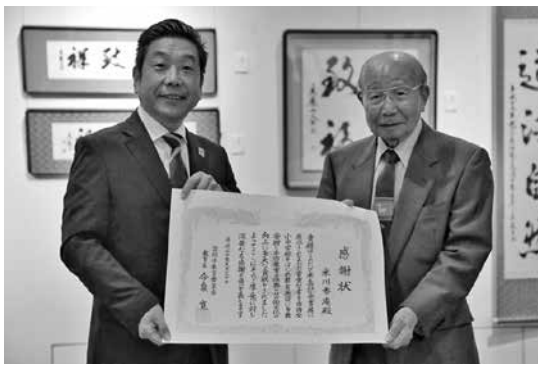
銀賞を受賞した引田くん

道徳の教材に書を寄付

9月30日（日）、米寿を迎えた書道家の米川香庵（よねかわこうあん）さん（本名：米川喜三（よねかわきぞう）さん、平町）に感謝状を贈りました。

感謝状は、今回米寿記念として開催した展覧会の作品の中から19点を、市内の小中学校や公民館に寄贈していただいたことに対し贈られたものです。

米川さんは、寄贈にあたり「道徳の授業の教材にしてもらえたらありがたい。文字や言葉の意味、その魅力をこどもたちに知ってほしい」と思いを話しました。


左から、今泉（いまいずみ） 寛（ひろし）教育長、米川さん

笠間市消防団が県央大会で奮闘

10月7日（日）、茨城県消防ポンプ操法競技大会県央地区大会において、笠間市を代表して第12分団（笠間地区）と第21分団（鯉淵地区）が出場しました。

結果は第21分団が3位に輝き、1番員の山岸（やまぎし）将大（まさひろ）さんが優秀選手に選ばれました。優勝した水戸市とは1点差という僅差で、市の代表として素晴らしい動きを披露し練習の成果を充分発揮してくれました。

第21分団による放水

消防本部が「茨城県救急医療功労者知事表彰」を受賞

「救急の日（9月9日）」に合わせ、平成30年度茨城県救急医療功労者知事表彰式が9月6日（木）に県庁で開かれました。

笠間市消防本部は、救急医療情報システムを活用した救急業務での搬送先病院選定などの円滑な運用が功績として認められました。救急医療の確保に貢献した5団体と個人29人に表彰状が贈られました。

表彰者集合写真

山を駆け巡る。かさまトレイルラン

10月8日（月・祝）、あたご天狗の森で第5回かさまトレイルランが開催されました。

コースは、24kmのロングと17kmのショート、そしてキッズコースがあり、北は岩手県から南は愛媛県まで総勢567名の方が参加し、笠間の景色を楽しみながら、起伏に富んだコースを走り抜けました。

登山道を利用したコース設定のため、途中に傾斜のきついところもあり、選手の皆さんが辛そうな場面もありましたが、自然を満喫しながら爽やかな汗を流しました。

コースを堪能する、選手の皆さん

認知症を理解するイベントを開催

9月29日（土）、RAN伴（認知症になっても伴に生きられる社会づくりを目指すイベント）が開催され、スタート地点の「ケアハウスかさま」からゴールの「陽だまり館」までイメージカラーのオレンジ色のTシャツを着たランナーを沿道の市民が応援し大会を盛り上げました。

この取り組みは、タスキをつなぐという「非日常な」体験・出会い・気づきから、認知症の人と一緒に誰もが暮らしやすい地域づくりを提案し、それぞれの「日常」が変わっていくことを目指しています。

力走する参加者

笠間KIT・Aチームが初の栄冠に輝く

10月10日（水）、笠間KITのAチームのメンバーが、9月に宍戸ヒルズカントリー開催された、アマチュアゴルフ第15回県シニア市町村対抗選手権で優勝したことを報告に表敬訪問しました。

笠間KIT・Aは4度目の出場で初の栄冠に輝きました。主将を務めた加藤法男さんは「ゴルフのまち笠間を示すことができたので、今回の優勝は本当に嬉しい。」と話し、山口市長は「シニアのみなさんの優勝で、笠間市のゴルフ熱がさらに高まるのを期待しています。」とエールを贈りました。

左から、白田佳彦さん、加藤道春さん、加藤法男さん、山口市長、鈴木 穣さん、橋本年且さん

市立こども園の運営を大成学園へ

9月25日（火）、笠間市は、保育教諭の質の向上と保護者が満足するこども園を目指すため、学校法人大成学園と、市立こども園の運営に関する協定を締結しました。

協定は、「公立保育所および幼保連携型認定こども園民営化方針」に基づき進めたもので、県内学校法人を募集し、審査、決定したものです。

大成学園による運営は来年4月1日から行われることになり、市の基本理念と指導計画を継続しながら大成学園の特色ある教育と保育を取り入れます。

笠間市は、これからも教育環境の充実を図っていきます。

右から大成学園 額賀理事長、山口市長

全国出場目指す友小合唱隊

10月4日（木）、友部小学校合唱隊が、「NHK合唱コンクール茨城県大会」で銀賞、「TBSこども音楽コンクール」で優秀賞を受賞しました。TBSコンクールの最終選考の結果最優秀賞として、東日本優秀演奏発表会出場が決まり、市に報告に訪れました。

友部小学校合唱隊は、茨城県代表として平成31年1月7日に江戸川区総合文化センター（東京都）で開催される、東日本優秀演奏発表会へ出場し、全国大会出場をかけて発表会に挑みます。

報告に訪れた友部小合唱隊の皆さん、左端は山口市長

市民センターいわまがリニューアル

9月23日（日）、市民センターいわまの、リニューアルオープン記念式典が行われました。

山口市長は「建物の内外装だけでなく駐車スペースも広くなった地域複合施設の市民センターいわまを更に利用してください。」と話しました。

式典では、市出身のヴァイオリニスト飛田和華（とびたわか）さんの演奏が披露され、美しい音色が来場者を魅了し式典に花を添えました。

演奏を披露する、飛田さん

スポーツファイル

第8回 市長杯ソフトボール大会

8月26日（日）岩間B＆G海洋センター

優　勝　旭ケ丘ソフト
準優勝　旭ソフト
第３位　東宝・ワカバ、住吉SAM

旭ヶ丘ソフトの皆さん

第5回 県市町村選抜ソフトボール大会

9月29日（土）八千代町民公園ほか

第3位　柿橋ソフトボールクラブ

選手の皆さん